

生徒作品例 紙による刻字

四 考察
(一) 篆刻

今回の制作過程で字入れの時間数の差の大きい理由としては、用材に直接文字を書いた場合とカーボン紙など利用して写させた場合とかご字を貼布した場合によるものである。(指導計画と生徒の実作業の参考資料省略)

刻字作家の制作過程はこの方法と大同小異なので「文字研究→草稿→かご字」の過程を「字入れ」として指導者の裁量にまかせた。
はがき大の桂の板を標準とし、その配当時間によって制作不可能な場合にはその用材を紙などに変更して刻字の制作を進めた。

生徒作品を吟味すれば確かに時間をかけた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

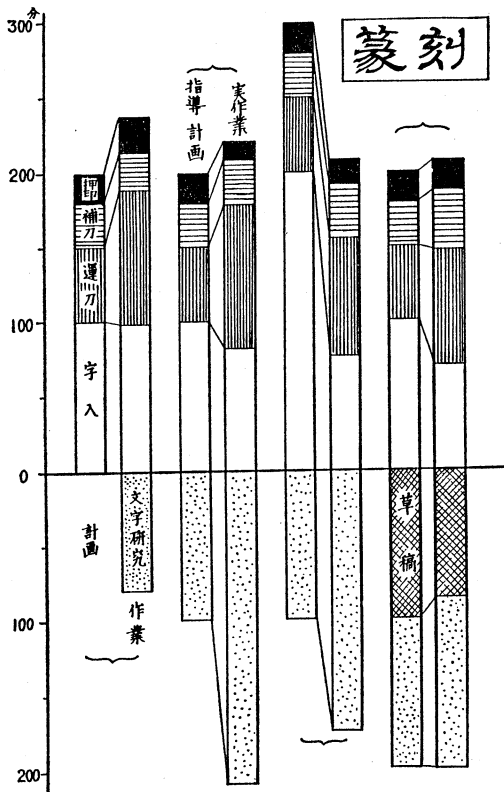
けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

けた作品がよい。しかし単に時間がか

指導計画と生徒の実作業時数



処理

② 運刀では、白文(陰刻)や朱文(陽刻)などがあり、どちらも限定しなかったため具体的な時間が得られなかった。
③ 作品を限定して要する時間を研究してみた。今後の研究題としたい。

五 おわりに

篆刻・刻字の高等学校における標準的な制作過程を設定してみた。これは決してこうでなければならないというものではない。一つの目安として考

えていただければ幸である。

楷書や行書の教材に臨書や創作などがあるのと同じように篆刻・刻字にも臨刻や篆刻や創作がある。このような方法、手段によって今後古拙や雅味を作品の上に出せるようになるまで指導をしてゆきたいものである。与えられた時間を有効に使うためにも教材にかける時間の大切さを感じさせるものである。

(代表・福島県立福島北高等学校
教諭 網代春朋)